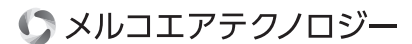


自然給気ユニット (天井据付タイプ・フィルター付)



室内給気部材

形 名

AT-100QNKT

取扱説明書 (据付説明書付)

この製品は24時間換気方式の排気による圧力差を利用する自然給気口として住宅居住室内の天井に据付けて使用するものです。それ以外の用途・場所には使用（据付け）しないでください。

寒冷地使用の場合は、ダクトおよびエルボの外側に十分な断熱を施してください。

■この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。

■据付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。



注意

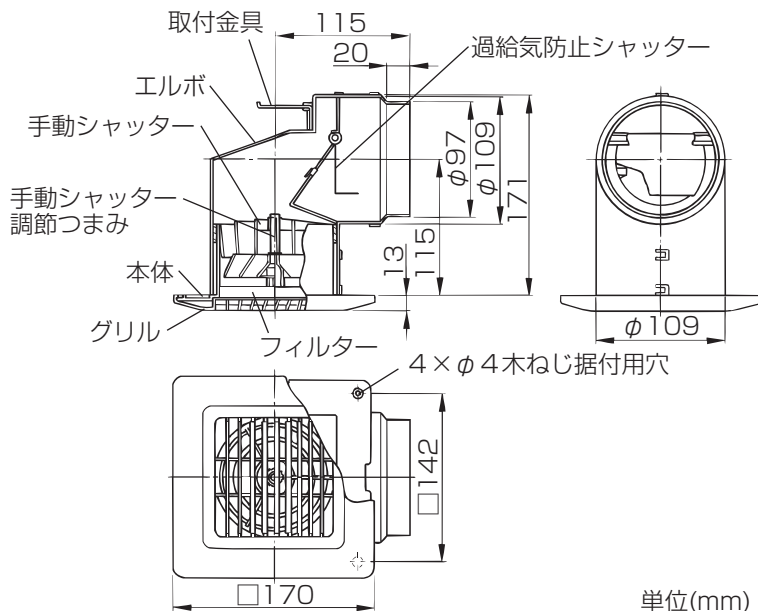
誤った取扱いをしたときに、
軽傷または家屋・家財などの
物的損害に結びつくもの



指示に従い
必ず行う

- 据付けは確実に（落下によりけがをする原因）
- 据付けやお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがをする原因）

外形寸法図



単位(mm)

据付け前のお願い

- 屋外環境に適したフードを選定してください。
雨水がかかる場合…
深形フードをおすすめします
風雨が強く下から吹き上げがある場合…
角形耐外風フードをおすすめします
外の騒音が大きい場合…
防音形フードをおすすめします
- 直接炎・油煙があたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用できません。
- 屋外（外気）の環境によっては、壁（天井）を汚すことがあります。また、小さな虫は侵入する場合がありますので、屋外側においては外灯などから離れた場所を選んで据付けてください。
- 外気（冷気）侵入や雨水浸入、虫侵入の影響のない場所を選んでください。
- 外気の取入れは燃焼ガスなどを吸込まない、積雪で埋もれたりしない場所を選んでください。
- 高温（40℃以上）になる場所・浴室などの湿度が高い場所では使用できません。
- 下記環境下で使用しますとグリル表面から結露水が滴下することがあります。
（屋外温度が-10℃を下回り、かつ室内温度15～25℃、室内湿度が45%RH以上）
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離れたところに据付けてください。
- メンテナンスができる場所に据付けてください。
- 接続するダクトは雨水の浸入を防ぐため、屋外に向けて1/30の下りこう配をつけてください。
- 設置したパイプに著しい変形（ツブレ等）がある場合は、製品を据付けしないでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用して据付けてください。
- 据付面に反り・凸凹がないか確認して据付けてください。

■付属部品

- 木ねじ……………4本
- ボード止め…………4本

■適用パイプ (寒冷地使用では、ダクトに断熱材(市販品)を施してください)

- 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)
- 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
- スパイラルダクト
- フレキシブルダクト

据付方法

■開梱時、手動シャッターは全開状態です。

■使用ダクトにより据付方法が異なります。

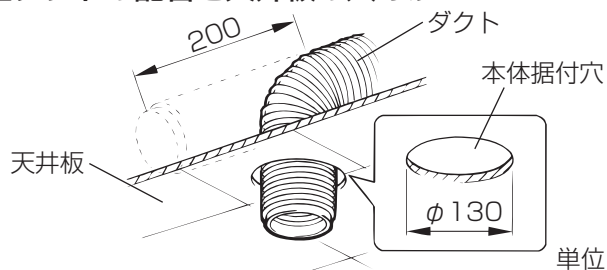
①フレキシブルダクト(φ100)使用

②硬質ポリ塩化ビニル管または、スパイラルダクト(φ100)使用

1 フレキシブルダクトを使用した場合(φ130穴あけ)

1

■ダクトの配管と天井板の穴あけ



1.ダクトを本体据付予定位置より200mm程長くして配管する。

2.天井板を張り、本体据付位置に本体据付穴φ130をあける。

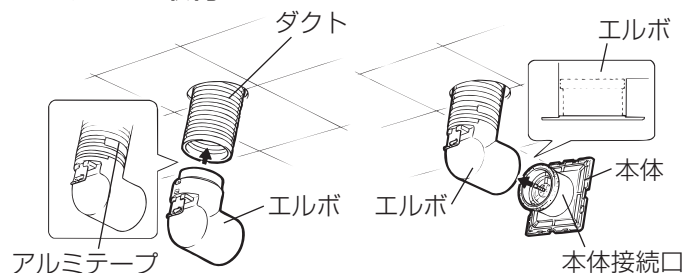
お願い

●天井板を加工する際は、保護具(メガネ・マスク)を着用してください。

3.本体据付穴から、ダクトを引き出す。

2

■エルボの取付け



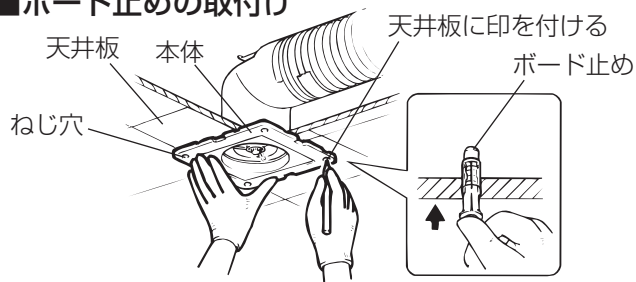
1.グリルを本体からはずす。

2.エルボを確実にダクトに差し込み、アルミテープ(市販品)で風漏れのないよう2回以上巻き付ける。

3.図のように、本体接続口をエルボの元まで差し込む。

3

■ボード止めの取付け



1.エルボを一旦天井内に押し込み、据付位置を決める。

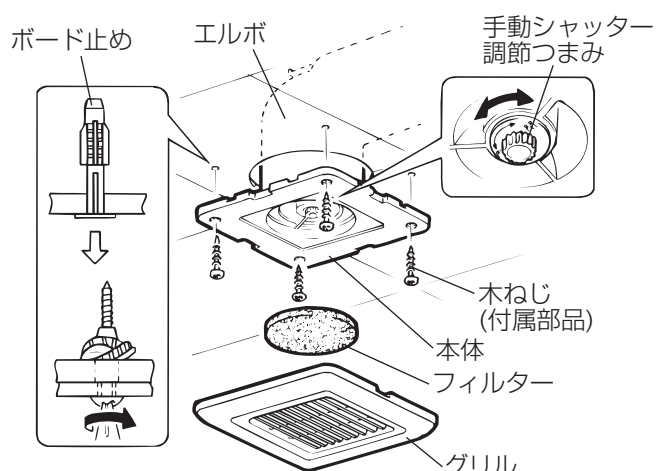
●本体のねじ穴(4か所)の位置を鉛筆等で天井板に印を付ける。

2.印を付けた位置にφ5.5の穴をあける。

3.付属のボード止め(4本)を差し込む。

4

■本体およびグリルの取付け



1.エルボを天井内に押し込み、ボード止めを付属の木ねじ(4本)で締め付けると、ボード止めが図のように確実に取付けることができます。

お願い

●締め付トルク10N・m以下のトルクで締め付けてください。トルクが大きすぎるとボード止めが、から回りして止まらないことがあります。

2.必要に応じて手動シャッター調節つまみで、風量調節をする。

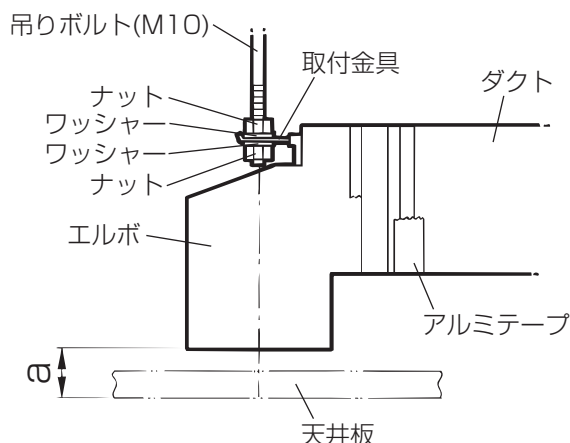
3.フィルターを所定の位置に収める。

4.グリルをお好みの風方向に合わせ、本体にはめ込む。

2 硬質ポリ塩化ビニル管・スパイラルダクトを使用した場合(φ130穴あけ)

1

■ダクトの配管とエルボの取付け

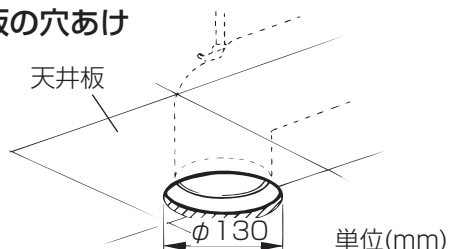


1. エルボをダクトに差し込む。
2. 左図のように、本体据付穴の中心に市販の吊りボルト (M10) を埋め込む。
3. エルボに付いている取付金具に吊りボルトを通し、市販のナット・ワッシャーで仮固定する。
●天井板の下端面から、エルボの下端面までの間隔(a)は、天井板の厚さ $\leq a \leq 35\text{mm}$ にしてください。
4. 左図のように、エルボとダクトの周囲をアルミテープ (市販品) で風漏れのないよう2回以上巻き付ける。
5. 仮固定してあるナット・ワッシャーを確実に締め付ける。

お願い ●ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/30の下りこう配をつけ、固定してください。

2

■天井板の穴あけ



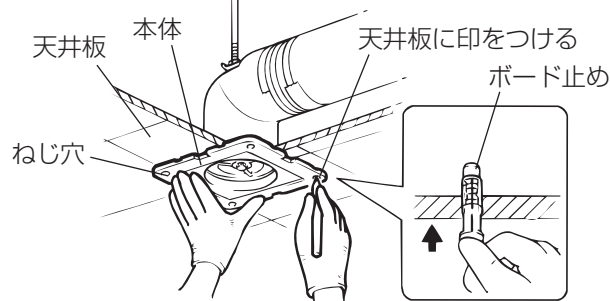
1. 天井板を張り、本体据付中心位置に本体据付穴φ130をあける。

お願い

- 天井板を加工する際は、保護具 (メガネ・マスク) を着用してください。

3

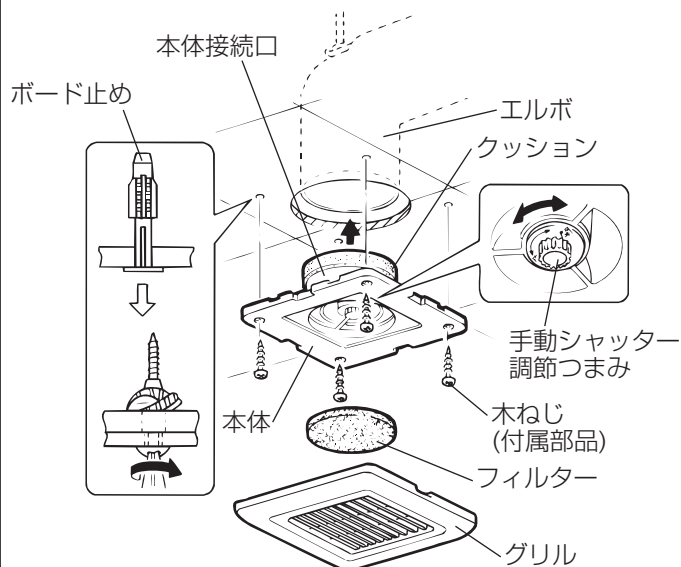
■ボード止めの取付け



1. グリルを本体からはずす。
2. 本体接続口を一旦エルボに差し込み据付位置を決める。
●本体のねじ穴 (4か所) の位置を鉛筆等で天井板に印を付ける。
3. 本体をエルボから取りはずし、印を付けた位置にφ5.5の穴をあける。
4. 付属のボード止め (4本) を差し込む。

4

■本体およびグリルの取付け

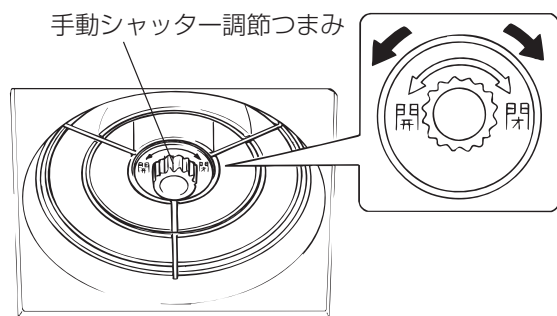


1. 本体接続口をエルボに差し込む。
●ボード止めに付属の木ねじ (4本) で締め付けると、ボード止めが図のように確実に取付けることができます。

お願い

- 締付トルク10N・m以下のトルクで締め付けてください。トルクが大きすぎるとボード止めが、から回りして止まらないことがあります。
2. 必要に応じて手動シャッター調節つまみで、风量調節をする。
 3. フィルターを所定の位置に収める。
 4. グリルをお好みの風方向に合わせ、本体にはめ込む。

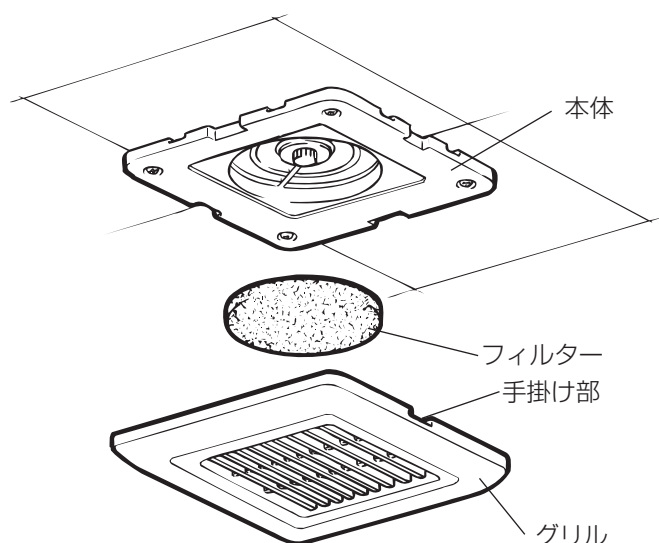
使用方法



- この自然給気ユニットは、通常「全開」の状態で使用しますが、台風等外風の侵入がはげしいときは、グリルをはずして手動シャッター調節つまみを「閉」の方向へ回転させます。その後必ず「全開」状態にすることを忘れないください。

お手入れ

フィルターや本体、グリルにほこりが付着しますと風量低下などの原因になりますので、1～2か月に1度を目安に清掃してください。



- 1.グリルをはずす。
 - グリルの両端の手掛け部に指を掛け手前に引いてはずします。
- 2.本体からフィルターを取り出す。
- 3.フィルターの清掃〈フィルターは再生タイプです〉
 - 軽く手でたたくかまたは、掃除機でほこりを吸取ります。汚れのひどい場合は、水または、ぬるま湯(40℃以下)に、台所用中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かします。熱湯で洗ったり、もみ洗いはしないでください。フィルターは、水洗い5～6回を目安に別売の交換用フィルターと交換してください。
- 4.本体やグリルの汚れは、薄めた台所用中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。
- 5.フィルター・グリルを元通り取付ける。

お願い

- 台所用中性洗剤を使用量の目安まで薄めて使用してください。(洗剤は原液のままで使用しないでください)
- 台所用中性洗剤で清掃した後は、中性洗剤が残らないようふきとってください。
- フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- フィルターを入れ忘れると壁や天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないようにしてください。
- お手入れに下記の溶剤や洗剤、清掃用具を使用しないでください。製品表面に傷つきや破損・変形・変質・変色、割れが発生する原因になります。
(シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤、ガソリン、灯油、カビ取り洗剤、柑橘系などの植物系洗剤、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんの薬品、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など)
- 交換用フィルターは、純正品をご使用ください。純正品は、下記にてお買い求めいただけます。

交換用フィルターのご注文

■オンラインショップ

<https://www.melcoairtec.jp/>

右の二次元コードからもアクセスできます



※お問い合わせは、本紙末尾に記載されているフリーダイヤルよりご連絡ください。

メルコエアテクノロジー株式会社

駒場事業所

〒508-0011 岐阜県中津川市駒場526-2

フリーダイヤル TEL: 0120-66-9893

FAX: 0120-66-9895

ホームページアドレス: <https://www.melat.co.jp/>